

ilo

いと

人と人、アートでつながる Oita Arts Magazine

iichiko 総合文化センター

Oita International Plaza [おおいた国際交流プラザ]

OPAM [大分県立美術館]

大分県芸術文化スポーツ振興財団
Oita Prefecture Arts, Culture and Sports Promotion Foundation

季刊広報誌 2019 SPRING vol.84 **Take Free**

大分県教育委員会 × 大分県芸術文化スポーツ振興財団
美術館を教育に！

△特集▽

竹工芸名品展…ニューヨークのアービー・コレクション
メトロポリタン美術館所蔵
ムーミン展 THE ART AND THE STORY
首藤康之 演出・振付 バレエ『眠れる森の美女』



Do you know where this is?
ここはどこでしょう？

今号のiIOでは、大分県立美術館で開催の「竹工芸名品展：ニューヨークのアビー・コレクション—メトロポリタン美術館所蔵」や「ムーミン展 THE ART AND THE STORY」、iichiko総合文化センターで開催の「アラベラ・美歩・シュタインバッハー ヴァイオリン・リサイタル」や「ウェールズ弦楽四重奏団 ベートーヴェン 弦楽四重奏曲全曲演奏会[第4幕]」など今春から夏にかけての展覧会や公演事業、9月20日～11月2日に開催のラグビーワールドカップ2019日本大会の会期中に行う事業やイベント、さらには、年間を通して取り組む「制作バレエ『眠れる森の美女』」や「ミュージカル体験ワークショップ」、美術を活用した教育普及活動、国際交流などの事業を紹介します。

日本の竹工芸の 緻密さや滑らかな曲線は 素晴らしい

素晴らしい

メトロポリタン美術館
アジア美術部 学芸員
Monika Bincsik
モニカ・ビンチク

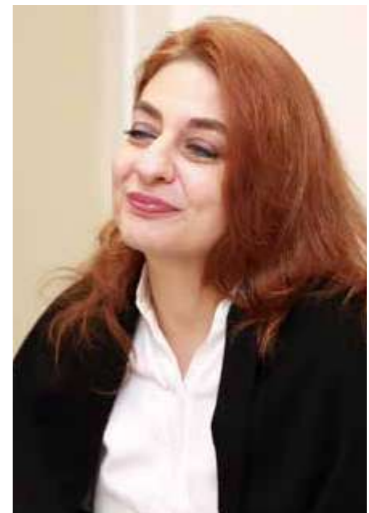
The Abbey Collection. "Promised Gift of Diane and Arthur Abbey to The Metropolitan Museum of Art." Images©The Metropolitan Museum of Art.
本展覧会はニューヨークにてメトロポリタン美術館が主催した Japanese Bamboo Art: The Abbey Collection 展を日本向けに再構成したものです。



生野祥雲齋《七宝文煤竹網代編盛籠》1947年頃

JAPANESE BAMBOO ART FROM NEW YORK: THE ABBEY COLLECTION GIFTS TO THE METROPOLITAN MUSEUM OF ART

メトロポリタン美術館で学芸員を務めるモニカ・ビンチクさんが監修した「竹工芸名品展」が大分県立美術館で開催されます。モニカさんに日本の竹工芸への思いや、展覧会の魅力を伺いました。



飯塚瑠璃斎(文斎)1920—1930年代頃



生野徳三《沓》1993年

品への変遷にも関心が持たれています。

—以前九州を訪れたそうですが、どういった印象を受けましたか？

九州には、メトロポリタン美術館で竹工芸の展示をする際に、竹工芸について勉強するために行きました。九州のイメージとしてはまず、自然がすばらしい！すごく綺麗で感動しました。

特に印象的だったのは、竹林が日常に溶け込んでいることです。アメリカで竹工芸はたくさん見えてきましたが、竹林を見る機会ほとんど無かったのが、大分にはたくさんさんの竹林があつて驚きました。また、日本で竹は籠だけでなく建築や料理の盛り付けにも使っていますよね。日本人と竹の生活を拝見できて良かったです。



今回展覧会を行う、大分県立美術館の外観も竹工芸からインスピレーションを受けたように思いました。初めて竹工芸の分野で人間国宝になった生野祥雲齋(しょうのしょうんさい)を筆頭に、九州の竹工芸のコレクションも素晴らしいかったです。

展覧会では、九州の作品を大きく取り扱っています。なぜなら、九州は質の良い真竹が取れるため古くから竹籠の産地として知られていますし、生野祥



本間一秋《いぶき》1968年

—今回展示されるアビー・コレクションとはどのようなものでしょうか？

アビー・コレクションとは、ニューヨークのコレクター、アビー夫妻が約20年前から集めている、230点にも及ぶ竹工芸コレクションのことです。1990年代に、アメリカのある個人コレクターが竹工芸を集め、ニューヨークで展覧会を開きました。それがきっかけで、アメリカでは竹工芸のコレクターが増えました。その中でもアビー夫妻は代表的なコレクターです。コレクションの特徴は、明治・大正・昭和の作品だけでなく、今活躍している現代美術家の、彫刻のような立体作品も収集している点です。

アメリカのコレクターの特徴として、共箱(作家が自ら箱に署名等をした作品を入れる箱)に入れて収蔵庫にしまいい込むだけでなく、実際に花を活けたり現代美術の絵画と一緒に部屋に飾ったりしています。今回の大分県立美術

—日本の竹工芸の特徴を教えてください。

日本の竹工芸のひとつの特徴は、曲線が滑らかなことです。籠にしても、現代美術にしても、線が綺麗です。アメリカでも物を入れる籠は制作されますが、日本のように非常に細かく、美意識が感じられるような作品はほとんどありません。中国や他のアジアの国々の竹籠にもあまり見られない特徴です。

メトロポリタン美術館で開催された竹工芸の展覧会を見たアメリカの人々は、竹工芸のバラエティの豊かさに驚いていました。お茶道具などに使用されてきた長い歴史があることや、その伝統が守られてきた点、石や金工を使用することなく、竹だけで立体作品を作っている点を面白いと感じています。

一方で、伝統的な編み方を守りながらも、今の竹工芸作家さんの多くは現代美術作品を作っています。アメリカでは、現代美術作品として制作された立体的な竹工芸を、アビー夫妻のコレクションにコンテナポラリアートと合わせて飾る人もいます。このようにアメリカでは、日本の竹工芸の実用品から美術

雲斎の出身地でもあるからです。現在も、九州では新進気鋭の竹工芸作家さんが活躍しています。

—今回の展覧会の来場者の方々へメッセージをお願いします。

竹工芸は生活道具としてだけでなく、日本美術の中の竹工芸である点に注目して欲しいです。

かつては竹籠が道具として使用され、やがて工芸として扱われるようになり、現在ではファッションとしても関心を持たれています。その発展の流れも必見です。今回、竹工芸だけでなく日本の美術品と合わせて展示もします。竹工芸が屏風絵などと同じように、アートの一部だと感じていただければ嬉しいですね。

同時に若い作家さんの存在と、アビー夫妻のように竹工芸のコレクターの存在も知ってほしいです。日本では華道などに携わる方以外に、アビー夫妻のように竹工芸を集めている人はまだまだ少ないように感じます。竹工芸を作ることは、技術面ではもちろん、プラスチック製品に押され、作家の生活面も決して楽ではありません。

日本の竹工芸は、その緻密さや曲線の美しさが素晴らしいです。アメリカの学芸員もコレクターも今、日本の竹工芸のすばらしさを世界に伝えようとしています。そして、その伝統を守り続けて欲しいと感じています。若い作家さんがもっと活躍できるように、日本の個人の方もどんどん竹工芸作品を集めて、飾って楽しんでくれるような日が来ると嬉しいです。ぜひ、展覧会にも足を運んでいただきたいです！

竹工芸名品展：ニューヨークのアビー・コレクション メトロポリタン美術館所蔵

5/18(土)～6/30(日) ▶大分県立美術館 3階 展示室B

【時間】10:00～19:00、金・土曜～20:00(入場は閉館の30分前まで) 【料金】一般1,000円(800円)／大学・高校生700円(500円)※()内は20名以上の団体料金、中学生以下無料 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください。【問】大分県立美術館 Tel:097-533-4500

日本フィンランド外交関係樹立100周年記念

ムーミン展

THE ART AND THE STORY

ムーミンや作者のトーベ・ヤンソンについて教えてください。

ムーミンの世界へようこそ

ムーミンの生みの親 **トーベ・ヤンソン**



タンペレ市立美術館&ムーミン美術館
タイナ・ムッリハルエ 館長

フィンランドの画家で作家のトーベ・ヤンソン（1917~2001）は、第二次世界大戦後にムーミンを誕生させました。トーベは戦争を憎み（憎まない人はいないだろう）、逃れたいと思いましたが、戦争や暴力のない、さまざまな生き物が調和して生きられる世界を創造しました。彼女は生き生きとした緑の谷、静かな隠れ家から騒々しい子どもたちまで、さまざまな生き物や家族のキャラクターに満ちたムーミン谷を本の中で作り上げました。甚大な災害からパーティーのような楽しさまですべての生き物たちが喜びや悲しみを分かち合い共生する物語を描きました。

トーベの人生も物語のようです。芸術一家に育ったトーベも芸術家となりました。自身は画家を志向していましたが、作家やイラストレーターとなったことで、画家としての活動はほとんどできなくなりました。1950年代ムーミンは人気を博し、トーベは絵を描く時間がなくなり作家としての活動を諦める得なくなりました。幸いなことにパートナーのトゥーリッキ・ピエティラと出会い、ムーミンの制作を続けながら、二人はクルーヴハル島で時間を過ごすようになりました。多くの立体模型を制作し、膨大なムーミンのオリジナルイラストと共にタンペレ市に寄贈しました。

世界で唯一のムーミン美術館

こうしてタンペレ市は素晴らしい宝物を手に入れました。トゥーリッキの弟で、フィンランドの有名建築家レイマ・ピエティラが設計したタンペレ中央図書館内に「ムーミン谷」美術館が開館したのです。そして2017年、スカンジナビア最大の会議文化センターであるタンペレホール内に「世界でひとつのムーミン美術館」としてリニューアルオープンしました。

ムーミン美術館は、フィンランドの建築家タイナ・ヴァイサネンによって設計されました。ヴァイサネンは、埼玉県に3月16日にオープンしたムーミンのテーマパーク「ムーミンバレーパーク」の最寄り駅である飯能駅の設計も担当しています。ムーミン美術館の主な目的は、トーベの本のような幻想的な世界を作り出すことです。それは、世界中のどこにもない空間です。美術館のドアを開くと自分がどこにいるのか、時も空間の感覚も忘れてしまいます。300点にもおよぶトーベのオリジナル作品と立体模型がメインとなった、トーベの世界に没入できる場所です。光、雰囲気、音、そして体験型の展示など、忘れることのない旅へといざないます。

世界中の人々に愛されたトーベ・ヤンソン

トーベ・ヤンソンは才能にあふれた作家であり作家でありイラストレーターでもありました。また、勇敢な性格ですべてにおいて自分らしいやり方を貫き通しました。暮らしは質素で、食事はとてもこだわっていました。ダンスとお酒も好きでした。自然をこよなく愛し、特に海についてはよく知っていました。トーベはまた、女性のパートナーと生活していることを公にした、フィンランドで初めての女性の一人です。彼女は特別な存在であり、私は賞賛しています。

トーベ・ヤンソンは、フィンランドはもちろんのこと、海外でも人気を博し、その後特に日本で大人気になるなど、国際的に長年愛され続けているアーティストです。トーベの本は世界中で子どもから大人まで幅広い世代に愛されています。人々はトーベの物語の中のキャラクターに共感し、いやされます。トーベの物語は時代を超え、何度も読み返すことができ、飽きることはありません。

大分で本展をご覧になる来場者に、メッセージをお願いします。

タンペレ市立美術館が、ムーミンキャラクターズ社と朝日新聞社と共催した今回の展覧会では、日本のみなさまにムーミン一家の話だけではなく、果敢で才能あふれる女性、トーベ・ヤンソンのことを知っていただく機会にもなることでしょう。また、ヨーロッパミュージアムオブザイヤーにノミネートされているムーミン美術館についてもご紹介できたらと思います。タンペレにある美術館にもぜひ一度足を運んでいただけたら幸いです。



フィンランド・タンペレ市にある「ムーミン美術館」。トーベ・ヤンソンの本のような幻想的な世界が広がっている。



Photo:Jari Kuusenaho

ムーミン展 THE ART AND THE STORY

2019年6/29(土)~9/1(日) ▶大分県立美術館 1階 展示室A

【時間】10:00~19:00 ※金・土曜は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)
【料金】一般1,400(1,200)円、大学・高校生1,000(800)円、小中学生700(500)円
※()内は20名以上の団体料金 ※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください 【問】大分県立美術館 Tel:097-533-4500

主催:ムーミン展大分展実行委員会、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館、TOSテレビ大分、朝日新聞社
共催:大分合同新聞社
協賛:NISSHA、大分日産自動車
後援:フィンランド大使館、大分県、大分県教育委員会、NPO法人大分県芸振、TNCテレビ西日本、UMKテレビ宮崎、エフエム大分、大分ケーブルテレコム株式会社、月刊・シティ情報おいた
協力:ライツ・アンド・プランズ、S2、フィンエアー、フィンエアーカーゴ

4 日本とフィンランドの記念のコーナーも

2019年はフィンランドと日本の外交関係樹立100周年。トーベは来日も果たしています。トーベが愛した日本を、写真資料やスケッチで紹介するほか、浮世絵とムーミンを並べて展示します。(浮世絵は複製版やパネルなどを展示します。)



トーベ・ヤンソン(「ムーミンパパ海へ行く」挿絵)1965年 インク・紙 ムーミン美術館



歌川広重(名所江戸百景 大はしあけの夕立(複製 アダチ版) 安政4年(1857) 大判錦絵

3 ムーミン 貴重なコレクションも展示

「まぼろしのムーミン人」や「アイスカード」など、アドベン銀行や新聞の広告なども！手で手元に残っていた作品をターズ社保有の貴重なコレクションも並びます。小ムーミンとそのなまかことができます。



トーベ・ヤンソン(「フォーレングス銀行」1956年印刷 ムーミンキャラクターズ社

キャラクターズ社所蔵のコレクションも展示

形」ともいわれるアトリエ・ファアや「アイスカード」アドベン銀行や新聞の広告なども！手で手元に残っていた作品をターズ社保有の貴重なコレクションも並びます。小ムーミンとそのなまかことができます。



トーベ・ヤンソン(「スウェーデンの日報」スウェーデンの日報「スヴェンスカ・ダグブレード」1957年印刷 ムーミンキャラクターズ社

2 ムーミンの小説、絵本から代表的なシーンを原画で紹介

ムーミンの小説は「小さなトロールと大きな洪水」「ムーミン谷の彗星」「たのしいムーミン一家」「ムーミンパパの思い出」「ムーミン谷の夏まつり」「ムーミン谷の冬」「ムーミン谷の仲間たち」「ムーミンパパ海へ行く」「ムーミン谷の十一月」と9つ出版されています。本展では、9つ全ての小説からの代表的なシーンの数々や絵本「ムーミン谷へのふしぎな旅」の原画を紹介します。



トーベ・ヤンソン(「ムーミン谷の彗星」挿絵)1946年、1968年(改作) インク・紙 ムーミン美術館



トーベ・ヤンソン(「ムーミン谷の夏まつり」挿絵)1954年 インク・紙 ムーミン美術館

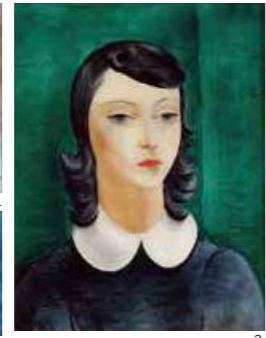
© Moomin Characters™

1 世界でただひとつの「ムーミン美術館」からやってくる!

フィンランド・タンペレ市にある「ムーミン美術館」は、2017年に装いをあらたにリニューアルオープンしました。世界で唯一のムーミンの美術館で、約2000点も作品を所蔵しています。本展では、同美術館からムーミン小説の原画やスケッチのほか、トーベがムーミン小説を手がける前に描いていたスウェーデン語系の風刺雑誌「GARM」の挿絵など、よりすぐりの作品がやってきます。

2019 コレクション展 II 「エコール・ド・パリと竹」

企画展「竹工芸名品展：ニューヨークのアーヴィン・コレクション」の開催にあわせ、コレクション展IIでは大分の竹工芸を特集します。時代を超えて、伝統を継承し、新たな価値を創造する大分の竹工芸。そのヴァリエーション豊かな世界をご堪能ください。また洋画においては、1920年代パリに集った芸術家集団「エコール・ド・パリ」の絵画を多数ご紹介いたします。気品漂う絵画群をたっぷりとお楽しみください。



開催期間
6/7(金)~8/6(火)
前期...6/7(金)~7/2(火)
後期...7/4(木)~8/6(火)
▶大分県立美術館 3階 コレクション展示室
ギャラリー・トーク
6/16(日)・7/7(日)・21(日)・8/4(日)
各日14:00~15:00
※予約不要・要観覧券
1.ラウル・デュフィ《モーツァルト》1941年頃 2.モイーズ・キスリング《ミモザ》1945年 3.モイーズ・キスリング《婦人像》制作年不詳 4.生野祥雲齋《八椀櫛目編盛籠》1940年 5.生野徳三《白竹の籠》1990年

2019 コレクション展 I 「没後10年 岩澤重夫に捧ぐ—自然との対話」

日田市に生まれた日本画家・岩澤重夫(1927-2009)は、京都市立美術専門学校卒業後、堂本印象に師事し、日展を主な作品発表の場として活躍しました。大自然の雄大な景観や、四季折々の光景をみずみずしい感覚でとらえたその作品は、今日もなお多くの人々を魅了しています。今回のコレクション展Iでは、岩澤の没後10年を記念し、その画業の歩みを振り返るとともに、所蔵品の中から様々な手法で自然をとらえた作家たちの作品の数々を紹介します。



岩澤重夫《嵐》1973年



岩澤重夫《嵐》1978年

開催期間
4/5(金)~6/4(火)
前期...4/5(金)~5/7(火)
後期...5/9(木)~6/4(火)
▶大分県立美術館 3階 コレクション展示室
ギャラリー・トーク
4/14(日)・28(日)・5/12(日)・26(日)
各日14:00~15:00
プレミアムフライデー ギャラリー・トーク
4/26(金)・5/31(金)
各日17:00~18:00
※予約不要・要観覧券

コレクション展 I・II 共通

【時間】10:00~19:00 ※金・土曜は20:00まで(入場は閉館の30分前まで) 【料金】一般300(250)円/大学生・高校生200(150)円 ※()内は20名以上の団体料金、中学生以下は無料 ※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください 【問】大分県立美術館 Tel:097-533-4500

首藤康之

INTERVIEW



2020年公演

「眠れる森の美女」

演出・振付 首藤康之

—今回、「眠れる森の美女」を選んだ理由は？

理由はたくさんあるんですが、作品の華やかさは大きな要因のひとつですね。チャイコフスキーの三大バレエ「眠れる森の美女」は、くろみ割り人形、白鳥の湖はご存知の方が多いと思いますが、その中でも「眠れる森の美女」は一番壮大なバレエで、何より華やかですから。

—「眠れる森の美女」は、首藤さんが初めて主役を演じた作品でもあります。思い入れのある作品だけに、こだわりたい場面などはありますか？

19歳の時にプロになって主役デビューした「眠れる森の美女」は、僕がチャイコフスキーの中でも好きな曲の、プロローグの妖精の場面だったり、2幕の幻想の場面だったりというところが、全てカットされているバージョンだったんですよ。だから、そこはちゃんと忠実にやりたいなあと思っています。すごく美しい旋律の曲なので。

—演出について考えていらっしゃることはありますか？

「眠れる森の美女」全曲をフルに演奏すると4時間近い作品です。部分的にカットするなど、いろんなバージョンがあるんですが、初演のようにニュートラルなストーリーを辿って、あまり手を加えないようにしようとは思っています。ただ、ダンサーありきの演出振付ですから、オーディションで選ばれたダンサーに触発されて、きつといういろいろ変わってくるだろうと思いますね。

—前回演出された時の、大分のダンサーの印象は？

ひとつのものを創りあげていくことに対して



の誠実さとか、真っ直ぐさっていうのはみなさんがすごく持たれているし、すごく協力的でした。今回も期待しています。

—生まれ育った大分で演出をするというのは、特別な思いがありますか？

そうですね。ここでバレエに出合って、ここでバレエを最初に習い始めましたから。大分でこういう作品を作ることに携われるっていうこともすごく重要なことだし、大切にしたいと思っています。大分で仕事をすると、僕自身すごく落ち着くんです。小さい頃からいろいろのものを与えてくれた土地でもありますが、ですから、こうやって少しずつバレエなどを通して、大分に住む方々や大分という土地にお返しをしていきたいなあと思っています。

—「眠れる森の美女」も楽しみです。その前に、5月にiichiko音の泉ホールで公演される「レニングラード・ホテル」にも出演されます。こちらの見所は？

僕はバレエをベースとしているのですが、この「レニングラード・ホテル」のベースはパントマイムです。パントマイムというと、大道芸のような感じを想像するかもしれませんが、すごく進化していて、無言劇のようなものですが、身体性がすごく特化されていて、踊りといえば踊りだし、踊りじゃないといえば踊りじゃないという感じかな。出演者も大分に馴染みが深いんですよ。前回の「ドン・キホーテ」にも出ていただいた「CAVA(サバ)」という、すごく新しい試みをするカンパニーとの共演で、彼らも大分に来ることをすごく楽しみにしています。きつと今までに見たことのない、感じたことのない世界観を味わっていただけなのではないかと思っています。



眠れる森の美女
オーディション開催

インタビューの翌日に、小学生、中学生以上、ワークショップスタイルと3つのクラスに分けて行われたオーディション。小学校新4年生～6年生のクラスには32名が集まりました。はじめに、首藤さんから「失敗を恐れずに、思いっきりやってください」という言葉がかけられ、参加者はバレレッスン、センターレッスンで日頃の練習の成果を披露しました。途中から首藤さん自ら前に出てアドバイスを送り、指導する一幕も。参加者からは「初めての振付が多くて難しかったけど、生のピアノ伴奏に合わせて、首藤先生の前で踊れたことがとにかく楽しかったです」との話が聞きました。

Data

チケット

びびり先行発売
10/19(土)

一般発売
11/9(土)

大分県民と創りあげる大分のバレエ
『眠れる森の美女』

2020年2/9(日) ▶ iichikoグランシアタ

[演出・振付] 首藤康之 [指揮] 森口真司
[協力] おおいた洋舞連盟

[時間] 開演時間未定 [料金] 一般GS席12,000円、S席10,000円、A席8,000円、B席6,000円、C席3,000円

レニングラード・ホテル

5/28(火) ▶ iichiko音の泉ホール

[時間] 開演19:00、終演予定20:00 [料金] 一般S席3,500円、A席2,500円、びびりS席3,000円、A席2,000円、U25割S席1,500円、A席1,000円(25歳以下) [作・演出] 丸山和彰(CAVA) [出演] 首藤康之、黒田高秋(CAVA)、藤代博之(CAVA)、山本光二郎(コンドルズ)ほか
[問] iichiko総合文化センター企画普及課 Tel:097-533-4004

大分県内の公立文化施設が主催する舞台芸術公演情報

おおいたホールナビ

OITA HALLNAVI

ホームページ
<http://www.emo.or.jp/oitahallnavi/> でおおいたホールナビ登録館(10館)のイベント情報をお届けしています。

おおいたホールナビ登録館

- 1 iichiko総合文化センター
- 2 J:COM ホルトホール大分
- 3 B-CON PLAZA
- 4 パトリア日田
- 5 臼杵市民会館
- 6 エイトピアおおの
- 7 国見生涯学習センター
- 8 みんなかん
- 9 アストくにさき
- 10 くすまちメルサンホール
- 11 宇佐文化会館・ウサノピア

“大分県民と創りあげる大分のバレエ”がついに帰ってくる!

大分県出身の世界的ダンサー、首藤康之さんが演出・振付を手がけ、大分県内のダンサーが多数出演する大分県立美術館開館記念公演として2015年に披露された「ドン・キホーテ」。好評だった前作を受け、“大分県民と創りあげる大分のバレエ”がついに帰ってきます! 演出・振付はもちろん首藤さん。今回も大分県のダンサーが多数出演し、音楽を奏でる楽団員も大分県民から公募予定です。そして気になる演目は「眠れる森の美女」に決定しました。来年2月の公演に向け、早速ダンサーのオーディションを開催。走り始めた「大分県民バレエ」について、首藤さんに伺いました。

2017年1月から始まったベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会。若き実力派ウェールズ弦楽四重奏団が、ベートーヴェン生誕250年の2020年までに全16曲・全6回シリーズに挑みます。CD録音もスタートし、今年8月、折り返しの第4幕を迎えるメンバーの皆さんに、思いを語っていただきました。



Verus String Quartet

崎谷直人 (ヴァイオリン)

三原久遠 (ヴァイオリン)

横溝耕一 (ヴィオラ)

富岡廉太郎 (チェロ)

ウェールズ弦楽四重奏団インタビュー

クラシック音楽のイメージを超える ベートーヴェンの魅力

— これまでのシリーズを振り返って、どのように感じていますか。
富岡 実一人の作曲家の全曲演奏に取り組むのは初めてだったんです。しかもベートーヴェンの弦楽四重奏曲を、同じホールでシリーズとしてできるのはすごく幸せなことでした。回を重ねるにつれ、アンサンブルにおいても音楽的にも変化してきている気がします。
崎谷 シリーズの最初にやった第12番は、僕たちが13年前の結成当初に、初めて弾いた曲で、第2番は留学中にずっと弾き続けてきた曲でした。そういう曲と初めて取り組む曲を組み合わせ

— 全体のプログラミングの意図はどんなところですか。
三原 6回シリーズなので、前期・中期・後期の曲から、毎回なるべく各1曲ずつ聴いていただけるプログラムを考えました。一つひとつの演奏会に必ずテーマを作って組み合わせています。
— 第4幕の聴きどころをお願いします。
三原 今回は前期最後の第6番と後期の有名な第13番「大フーガ付」です。6番は聴きやすく、かつ中期のベートーヴェンを予感させる作品。かたや13番は今の時代に聴いても新しく感じられ、ベートーヴェンより後の時代を予感させる作品です。前期の曲と後期の曲は聴いた時の印象がかなり違い、後期の方が難しく感じるとしています。ただ13番は、5楽章に、カヴァティーナと呼ばれるとても美しい楽章があって、そのあとに、大フーガという、ちょっとロックのような、シヨッキングな6楽章がある。このギャップがすごい。いわゆるクラシック音楽のイメージを超えたいはるかにアグレッシブなベートーヴェンを、ぜひ聴いていただきたいです。
— ベートーヴェンという作曲家は、特別な存在でしょうか。
崎谷 ベートーヴェンの弦楽四重奏曲は演奏家にとってすごく大切だし、簡単に手を付けられないものなので、たぶん各自の中で覚悟が要ったと思うんですが、ベートーヴェンだからと

— 7月の演奏会のプログラミングの理由と、意図を教えてください。
今回はまず、バッハとベルトの曲を演奏したいなと思いました。バッハはバロック、ベルトは現代音楽で、この2つは時代も雰囲気も違うのですが、神聖な面を持っているという共通点があります。また、これらの曲はともにも瞑想的で、普段から瞑想するのが好きな私にとって、とても親しみやすいんです。瞑想をすることは身体的にも精神的にも大事なことで、集中して内面を感じることでパランスを取っています。そこに古典のベートーヴェンと近現代のプロコフィエフの曲を加えて、より色とりどりに対してまた自分の感情が重なっていったらいい。この14年間で、さらに楽器の音色が豊かになってきたような気がします。
— 大分にご縁がある(母方の祖父の出身が臼杵市)とのことですが、大分の印象はいかがですか？
大分に降り立つと、柔らかい空気や自然豊かな景色、人々のおおらかさなどに触れて、これが自分のルーツだなと感じます。
— 最後に、大分の聴衆の皆さんにメッセージをお願いします。
祖父母の故郷である大分で演奏できること、同じ故郷の人々と感動を分かち合えることは、私にとって特別なことです。日常の喧騒から離れて、音楽を通して皆さんと心を通じ合わせたり、静寂の中で音だけに集中することによって、聴衆の皆さんにも非日常を味わっていただけたら嬉しいです。

※ミュンヘン国際音楽コンクール第3位

今回は8/7(水) 19:00~
iichiko presents
ウェールズ弦楽四重奏団
ベートーヴェン
弦楽四重奏曲全曲演奏会 ~第4幕~
曲目: ベートーヴェン作曲 弦楽四重奏曲
第6番 変ロ長調 作品18-6
第13番 変ロ長調 作品130/133「大フーガ付」



■第3幕公演レポート

1月16日 iichiko音の泉ホールで開催された第3幕のプログラムは、中期・後期を代表する第9番「ラズモフスキー第3番」と第15番。みずみずしい弦の響きに魅了された第9番、哀愁を帯びた美しい旋律が心に残った第15番。驚異的ともいえるほどびたりと息の合ったアンサンブルは、回を重ねるごとに深みを増しているように感じられました。4人4様の演奏スタイルが視覚でも楽しめるのは、小編成のカルテットならではの醍醐味です。ステージを食い入るように見つめながら聴く、熱心な聴衆の姿が印象的でした。熱い拍手に代えて演奏されたアンコール曲は、なんとモーツァルト!



マゼール、プロムシュテットなど世界的指揮者から愛されるヴァイオリニスト、アラベラ・美歩・シュタインバッハー。ドイツ人の父と日本人の母を持つ彼女の祖父母が臼杵市出身ということで、縁のある大分でストラディヴァリウスを奏でます。今回、7月の公演を前に来日したシュタインバッハーさんにお話を伺いました。(3/6東京・フジテレビにて)

Arabella Miho Steinbacher

interview

アラベラ・美歩・
シュタインバッハー
インタビュー



— ヴァイオリンを始めたきっかけを教えてください。
母のすすめですね。母は歌手、父はミュンヘンのオペラ座で働いていたコレペイトウール(オペラ練習時のピアノ伴奏や指導を行う人)だったので、小さい頃からいつも音楽が家中に溢れてたんです。そんな中、母が「私にも何か夢になれるものを」と勧めてくれたのがヴァイオリンでした。偶然家の近所でスズキ・メソッドの指導をしている先生がいらしたので、そこへ通いました。3歳の時です。

— ヴァイオリンを続けられた理由は何？
たくさん弾きたい曲があるからでしょう。次々と新しく魅力的な作品に出会えます。弾けるようになるにはどうしたら良いか？って、結局練習するしかないですね。笑。
— 「ストラディヴァリウス」の魅力を教えてください。
今私が使用している楽器は、日本音楽財団からお借りしている1716年製のストラディヴァリウス「ブリス」で、この楽器からたくさんのインスピレーションを受けています。楽器が300年以上もの間経験してきたことが木に染み込んでいて、演奏しているとそれを感ずることができると、このストラディヴァリウスは、明るい音色の他に深みのある音色も出せて、私はとても気に入っています。演奏していると自分の感情に対して楽器が反

— 最後の、大分の聴衆の皆さんにメッセージをお願いします。
祖父母の故郷である大分で演奏できること、同じ故郷の人々と感動を分かち合えることは、私にとって特別なことです。日常の喧騒から離れて、音楽を通して皆さんと心を通じ合わせたり、静寂の中で音だけに集中することによって、聴衆の皆さんにも非日常を味わっていただけたら嬉しいです。

— 大分にはどんな印象をお持ちですか。
三原 大分のお客様は熱心で、音楽を大事にしてくださいの印象があります。崎谷 仕事でもプライベートでも来ていますが、食べ物がいっぱい。カボスの時期には大量に買って帰ります(笑)。横溝 富岡と僕は、大学生の時「アルゲリッチ音楽祭」に桐朋のオケで出演しました。僕はそれ以来、毎年来ていて、大分にはお気に入りの居酒屋も(笑)。富岡 僕は焼酎の「いいちこ」が大好きなので、大分に来るのは楽しみです。

— 最後に、クラシック以外の音楽は聴きますか？他に好きなことは？
崎谷 クラシック以外が圧倒的に多い。バスケットボールも好きですね。
三原 僕はクラシックしか興味がない。勉強じゃなく趣味でもよく聴きます。横溝 洋楽を聴くのは好きだけど、クラシックは普段まったく聴かない(笑)。スポーツが好きで何でもやります。富岡 唯一好きなのが靴を磨くこと(笑)。本番の靴をきれいにしておきます。

Data
iichiko presents
アラベラ・美歩・シュタインバッハー
ヴァイオリン・リサイタル

2019年 7/16(火) ▶ iichiko音の泉ホール

[時間] 開演19:00、終演予定21:00 [料金] 全席指定一般4,000円(友の会びび3,600円)、U25割2,000円(25歳以下) [ヴァイオリン] アラベラ・美歩・シュタインバッハー [ピアノ] 入江一雄
[曲目] J.S.バッハ: ヴァイオリンとピアノのためのソナタ短調 BWV1020、L.v.ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ第9番 長調 Op.47「クロイツェル」、A.ベルト: フラトレス、S.プロコフィエフ: ヴァイオリン・ソナタ第2番 二長調 Op.94a [問] iichiko総合文化センター Tel:097-533-4004

ラグビーワールドカップ2019™日本大会の 期間を中心に開催する当財団事業

9/20～11/2に日本、そして大分会場のひとつとして開催されるラグビーワールドカップ2019™日本大会。当財団においても、大会開催期間中を中心に海外からの来県者の方々に日本文化に触れる機会となるよう、様々な事業を計画しております。

名探偵コナン 科学捜査展

～真実への推理～

■9/14(土)～11/10(日)

[会場]大分県立美術館 1階 展示室A [観覧料]
一般・大学生/1,400(1,200)円、中学生/1,000
(800)円、4歳～小学生/600(400)円

本展は、「名探偵コナン」の世界観をベースに、科学捜査の手法を体験しながら事件解決までのプロセスを楽しめる「体験型」の展覧会。「探偵手帳」を手に、証拠を採取する「現場検証エリア」、新たな情報を収集する「聞き込みエリア」、証拠を科学的に鑑定する「ラボエリア」を巡り、事件の真相を解明しよう！



The Ukiyo-e 歌川派

江戸浮世絵の黄金時代
～豊春から国芳、広重まで～

■9/20(金)～10/27(日)

[会場]大分県立美術館 3階 展示室B [観覧料]
一般/800(600)円、大学・高校生/500(300)円

江戸の風俗を写した浮世絵の多彩な魅力を、歌川派を軸に概観する展覧会。開祖の歌川豊春の豊後臼杵出身説を踏まえながら、遠近法を取り入れた「浮絵」や肉筆美人画など、歌川派の革新的な表現技法に迫るとともに、豊春の薫陶を受けた豊国、豊広、広重や国芳、そしてライバルの北斎にいたるまで、幅広い浮世絵師たちの個性的な画風を紹介する。



日本の美意識

～刀剣と金工～

■9/27(金)～10/22(火)

[会場]大分県立美術館 3階 コレクション展示室
[観覧料]一般/800(600)円、大学・高校生/500(300)円

日本独自の技術で作られた日本刀。古来より武士の精神を象徴するものとされ、近年ではその独自の美に人気が高まっている。本展では、日本各地の名刀に加え、実用刀として高い評価を得た地元・大分の豊後刀も紹介する。あわせて鍔(つば)をはじめとする刀装具や精巧な金工品を通して、日本が誇る工芸技術の粋と伝統的な美意識に触れる機会を提供する。



第3回 アトリウム遊園地

■7/13(土) 12:00～17:00

[会場]iichikoアトリウムプラザ [対象]0歳～小学生

iichikoアトリウムプラザをメイン会場に、音楽とアートを通じ、子供の様々な可能性を引き出すことをテーマにしたキッズパークが登場！クラシック、ミュージカル体験ステージや楽器体験、ラグビー体験ゾーンなど楽しいイベントが盛りだくさん！



宝塚歌劇宙組 全国ツアー

iichiko presents 大分公演

■9/12(木) 14:00～18:00～

[会場]iichikoグランシアタ
[主演]真風涼帆、星風まどか

今年105周年を迎える宝塚歌劇団全国ツアーの、4年ぶりとなる大分公演！



iichikoグランシアタ・スポーツ大会

手に汗にぎる音楽会!?

■9/29(日) 14:00～

[会場]iichikoグランシアタ

指揮に茂木大輔氏を迎え、九州交響楽団の演奏で、ラグビーワールドカップ大分開催を記念して行う音楽会。オネゲル作曲「ラグビー」や、古関裕而作曲「東京オリンピックマーチ」など、スポーツにまつわるクラシック音楽を演奏。進行は児玉けんめい氏。



国際交流文化体験

■ 準々決勝の期間
10/25(金)～27(日) (予定)

ワールドカップラグビー大分大会の期間中に、外国の観客の皆さんが日本文化を、県民の皆さんが県内対戦国等世界の文化を体験するスペシャルイベントを開催します(有償)。

日本文化体験

お茶、お花、書道、着付け、尺八、風呂敷など

世界の文化体験

世界のお酒とステージパフォーマンスなど





ラグビーワールドカップ2019™日本大会

一生に一度が大分に!

2019年9月20日(金)～11月2日(土)

大分スポーツ公園総合競技場 試合スケジュール

10月 2日(水)	19:15	ニュージーランド	対	カナダ
10月 5日(土)	14:15	オーストラリア	対	ウルグアイ
10月 9日(水)	18:45	ウェールズ	対	フィジー
10月19日(土)	16:15	準々決勝1	対	準々決勝2
10月20日(日)	16:15	準々決勝3	対	準々決勝4

MUSICAL

2019年度は10年目を迎えます! 県民創造ミュージカル


2019年度は、ミュージカル体験ワークショップが始まって10年目を迎える年になります。2009年度から始まったミュージカル体験ワークショップは、回を重ねるごとに人気を博し、今回(第17回)にいたっては、募集開始からわずか40分で定員の140名(小学生の部:55名、中学・高校・大学生の部:45名、一般の部:40名)が埋まるほどの大人気ぶりでした。2019年度のワークショップの開催は年6回を予定しており、これまでのワークショップの他に未就学児を対象としたワークショップも開催予定です。

第18回 ミュージカル体験ワークショップ

[稽古]8/14(水)～17(土)
iichiko Space Be リハーサル室
[発表]8/18(日)
iichikoアトリウムプラザ 他
[講師]野口アキラ、岡崎亮子 他
[曲目]未定
[募集定員(予定)]小学生の部:50名、
中学・高校・大学生の部:40名、
一般の部:40名


ミュージカル体験ワークショップはこんなに楽しい!

参加者インタビュー



佐藤陽菜さん(18歳)

今回で14回目の参加となります。元々バレエをやっていたので、歌いながら踊ることは難しいと思っていましたが、とにかく楽しくてはまりました(笑)。いろんな年代の人と一緒に、一つのステージを作っていく過程がとても楽しいです。ますます踊ることが好きになったので、春からはミュージカルが学べる県外の学校に進学し、テーマパークのダンサーか、劇団への所属を目標にがんばります。



佐藤昂星くん(15歳)

友達から誘われて参加しました。最初は場の雰囲気にも慣れず、レッスンも難しかったので後悔しました。でもみんなと仲良くなり、さらに家族から音痴と言われていた僕が歌唱上級者に選ばれて、ソロ曲を歌わせてもらったことで楽しくなりました。自分でも信じられないくらい! (笑) 学校でも積極的になり、笑顔が増えたと感じます。今では、将来の夢はミュージカル俳優以外、考えられません!

レッスンレポート 3/26(火)～29(金)



今年で17回目を迎えたミュージカル体験ワークショップ。小学生の部は、「ディズニースング」より、It's a Small World(イツ アスモール ワールド)。中学・高校・大学生の部は、ミュージカル「ミー・アンド・マイガール」より、Me and My Girl(ミー・アンド・マイガール)。一般の部は、ミュージカル「マンマ・ミーア」よりDancing Queen(ダンシング クイーン)。それぞれの部門の共通の曲として、オリジナルソングのWe Love Musical(ウィ ラブ ミュージカル)、ミュージカル「世界中がアイ・ラブ・ユー」よりEveryone Says I Love You(エブリワン セイズ アイ ラブ ユー)を練習しました。時々笑い声上がる和やかな雰囲気の中、全員で念入りにストレッチを行った後、歌とダンスの練習へと続きました。29日はレッスン最終日ということもあり、成果発表に向けて確認や最終調整を行いました。講師から「1回1回の舞台をおもいきりやろう!間違ってもいいからやりきって。後悔しないように!」と檄が飛び、参加者たちはキラキラとした笑顔と真剣なまなざしで、一生懸命取り組んでいました。

ワークショップ発表

発表当日、iichikoアトリウムプラザの会場は、来場者でいっぱいとなり、開演前から異様な熱気に包まれていました。開演し、1曲目のオリジナルソング、We Love Musical(ウィ ラブ ミュージカル)の曲が流れ、会場の至るところから出演者が出てくると、その熱気は、歓声と共に最高潮に達しました。合計5曲のノンストップショートレビュー公演が終わると会場からは、惜しめない拍手が送られました。





iichiko
3/30(土)
iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ
第10回定期演奏会

2009年4月に結成され、小学4年生から22歳まで73名が在籍するジュニアオーケストラの、記念すべき第10回定期演奏会。この日のために熱心な練習を重ねてきた団員たちが、渾身の演奏を披露しました。指揮は、今回が3回目となる下野竜也氏。前半のボロディン作曲「だったん人の踊り」、ビゼー作曲「歌劇《カルメン》第1組曲・第2組曲(抜粋)」では、おなじみの旋律を奏でるクラリネットやオーボエ、トランペットなどが大活躍し、躍動的な演奏が繰り広げられました。後半はジュニアオーケストラ初のブラームス。下野氏のダイナミックな指揮による「交響曲第2番」は、全楽章を通じてとても伸びやかな演奏で、とりわけ美しい第2楽章、若々しくエネルギーあふれる第4楽章が印象的でした。アンコールの「ハンガリー舞曲第6番」も大いに盛り上がり、地元大分に育つ若き演奏家たちに、温かく大きな拍手がいつまでも続きました。



▲アカデミッククラスのメンバーによるロビーコンサート

通じてとても伸びやかな演奏で、とりわけ美しい第2楽章、若々しくエネルギーあふれる第4楽章が印象的でした。アンコールの「ハンガリー舞曲第6番」も大いに盛り上がり、地元大分に育つ若き演奏家たちに、温かく大きな拍手がいつまでも続きました。

OPAM
2/2(土)~3/3(日)
国立科学博物館・コラボミュージアム in 大分
「とりになったきょうりゅうのはなし
—OPAMに恐竜がやってきた!—

絵本「とりになったきょうりゅうのはなし」を基に、国立科学博物館が所蔵する化石の標本やレプリカなどで絵本の各場面を再現し、恐竜から鳥への進化を紹介する展覧会。開会式には国立科学博物館の小川義和氏が出席し、コラボミュージアム初の美術館開催であることに触れ、「建物がいいので標本が映えます」と感想を述べられました。また絵本にも登場するメジロをモチーフにした「めじろん」がナビゲートするのもOPAMならでは。同時開催の「飛び出す3D恐竜シアター」は、思わず泣き出してしまふ子どもたちもいたほど、大迫力の3D映像でした。



関連事業 2/16(土)講演会
「絵本から始める最新恐竜学!」
恐竜研究の第一人者、国立科学博物館の真鍋真氏による講演会は、展覧会の元となった絵本の読み聞かせから始まりました。クイズや恐竜映画の話題を織り交ぜ、絵や図も豊富に使いながらの講演の中には恐竜に関する最新の真実が満載で、大人も子どもも興味津々。質問タイムでは「ティラノサウルスにはどんな羽毛が生えていたの?」などたくさん質問が飛び出し、どっぷり恐竜の世界に浸りました。



関連事業 2/17(日)特別解説
「恐竜の絵本を読み比べてみよう」
前日に引き続き真鍋氏によるイベントには、多くの家族連れが集まりました。絵本の読み比べによって、恐竜の進化の過程から最新の研究成果に基づく新事実まで様々なことが語られ、ユーモアを交えながらのトークや参加型クイズに会場は大いに盛り上がりしました。恐竜の歴史年表などを制作した、大分で活動する「児童文学と科学読物の会」も真鍋氏と共に絵本の読み聞かせを行いました。



▲メインレイアウト 総延長350m



▲サブレイアウト 総延長50m

OPAM
12/21(金)~24(月・振)
鉄道模型大運転会 2018

日本最初の鉄道「1号機関車」や子どもたちに人気の「新幹線」など、県内の鉄道模型コレクターが収集した16番鉄道模型や庭園鉄道など約370両が美術館に大集合。総延長350mと50mの長さでレイアウトされた線路を走行しました。また、運転開始から50年を迎えた特急「にちりん」の歩みを写真や資料で紹介するコーナーも設置。4日間で8,000人を超える方々に来場いただきました。

美術館を 教育に!

大分県芸術文化スポーツ振興財団では、学校や地域、関係機関と連携しながら美術館を教育に活用する取組を、国からの助成をうけるなどしてすすめています。(平成30年度 文化庁 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業)その中でも、今回は、大分県立美術館が開館以来行っている、美術館が地域に出向き、「色」や「美術」の視点からふるさとの特性やよさを再発見していく取組をご紹介します。

ふるさとの魅力発見! ~宇佐の色・歴史の色~

宇佐市立宇佐中学校で実施したのは、「宇佐の色・歴史の色」をテーマとしたスクールミュージアム。宇佐神宮に使われている「あか」色という視点から宇佐の歴史と文化を感じるプログラムです。「あか」色を様々な角度から楽しむため、大分県立美術館の所蔵作品を使った「学校美術館」、大分県立美術館教育普及グループによる「ワークショップ」に加え、大分県立歴史博物館の学芸員による「歴史文化講座」、奈良国立博物館館長による「ミュージアム・レクチャー」など、他館とも共同で行いました。



学校美術館「宇佐の色~歴史の中の「あか」色」



ワークショップ「あか・赤・アカのインスタレーション」



歴史文化講座「受け継がれる歴史と文化~宇佐神宮の色」

プログラムの最終回は、奈良国立博物館松本伸之館長を講師としたミュージアムレクチャー。この講座は、「あか」色の代表である「朱」「ベンガラ」「鉛丹」の3つの色のお話からはじまりました。そして、宇佐神宮や春日大社(奈良)にみられる鳥居の「あか」色などをとりあげ、色彩の果たした役割について解説。伊勢神宮の鳥居が白木であることなど、神社に「あか」色が使われ始めた起源について、大陸と日本の関係から分かりやすくお話して下さいました。中学生と、参加した地域の方々は、身を乗り出して聴いていました。



ミュージアムレクチャー(講演)「宇佐の色・日本の色・大陸の色~美術の視点からみた宇佐と奈良~」



異文化との出会い ~姫島の色・シンガポールの色~

平成31年2月12日・26日の2日間、シンガポール ラッフルズ校と姫島村立姫島中学校の2年生が、情報通信システムを使った地域間交流を行いました。テーマは「姫島の色」「シンガポールの色」。姫島村関係者の他、県教育委員会や大学関係者も参観する中、行われました。

この取組は、姫島とOPAMが、平成26年度から毎年開催している「姫島ジオ・ミュージアム」など、「色」をテーマとした地域ぐるみの活動に注目したラッフルズ校からの打診によって実現しました。

第1回目(2/12)は、両校の生徒同士が英語を使っての自己紹介。テーマは好きな色。そして、「姫島ジオ・ミュージアム」の5年間の取組紹介を行い、作品も紹介するなど楽しく交流しました。

第2回目(2/26)は、ラッフルズ校の紹介に対して「シンガポールの由来は?」「シンガポールに火山はあるか?」「黒曜石はあるか?」など、姫島中の生徒が英語で質問しました。ラッフルズ校からは、「大変興味深いセッションだった」という感想も届きました。

アートを通した地域間交流に、「英語をもっと勉強したい」「相手の反応が面白かった」「また、やりたい」など、異文化に出会う楽しさを感じる時間となりました。



3/9(土) 外国語図書無料配布

おおいた国際交流プラザに寄贈された外国語の中古本を無料で配布する、1年に一度のイベントが開催されました。小説や語学、児童書、ノンフィクションや歴史・美術・文化本など、個人や団体、留学生等が寄贈した多種のジャンル本が406冊並べられ、10時のイベント開始と同時にみるみるうちに本がなくなっていました。「今回はジャンル分けをされており、会場にBGMも流れていて入場しやすい雰囲気だった」「毎年この時期を楽しみにしていて、特に話題本が原著で読めるのが嬉しい」と来場者の好評を得ました。



おおいた国際交流プラザとは?

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく」多文化共生社会の実現に向け、様々な講座やイベントを開催しています。



Oita International Plaza News

News 01

12/14(金) 第3回 日本文化体験講座

県内の国際交流員・外国語指導助手(ALT)・留学生等18名を対象に、日本文化体験事業を開催しました。今年度は3班に分かれて尺八・風呂敷・お抹茶を体験。尺八体験では、普段馴染みがなくなかなか最初の音も出ないことに戸惑いながらも、すぐにコツを掴んで音を出す人もいて講師陣も参加者の脂質に驚いていました。風呂敷体験は現在外国人に風呂敷がブームということもあり、興味津々に講義を受けていました。そしてお抹茶体験では、茶道特有の所作に苦戦しながらもおいしいお抹茶に大喜びの様子でした。



EVENT SCHEDULE 4月～6月の無料相談

●在住外国人のための無料相談

毎月第1日曜 [ライフサポート主催] 13:00-16:00
6/2(日) ※5月は開催なし
※日本語・英語以外の方は2日前までの予約制
毎月第3水曜 13:00-16:00
5/15(水)、6/19(水)
※日本語・英語以外の方は2日前までの予約制

●中国語無料相談

毎週木曜 10:00-13:00
4/25(木)、5/9(木)・16(木)・23(木)・30(木)、6/6(木)・13(木)・20(木)・27(木)
※5/2(祝・木)は休館日のためお休みです。

●タガログ語無料相談

毎月第1土曜、第3火曜 13:00-16:00
5/11(土)・21(火)、6/1(土)・18(火)、※5/4(祝・土)は休館日のため、11日に変更します。

※尚、各無料相談日については変更になることがあります。



JICAデスク 大分だよ!

◀映画上映会の様子



▲エコクラフト作成を通じて3Rを学ぶ



▲青年海外協力隊が撮影したシリアの写真



▲世界遺産ピナトボ山

佐保

3月9日(土)iichiko総合文化センター地下1階映像小ホールにて、映画「それでも僕は帰る～シリア 若者たちが求め続けたふるさと～」の上映会を開催しました。生きることは、戦争とは、ふるさととは。シリアの民主化運動の中で生きている人々の「リアル」を映し出した作品で、平和について考えさせられる内容でした。映画上映後に、青年海外協力隊としてシリアに派遣された経験のある方を招き、温かく親切な人々、美しい景色、豊かな食文化など、シリアの良いところを紹介していただきました。内戦というネガティブなイメージだけでなく、シリアが本来持つ温かさや美しさなど、ポジティブなイメージも持てていただけたようです。さて、これまでJICAデスク大分を約4年間務めさせていただいておりましたが、2019年3月で離任することとなりました。業務を通して多くの方々に関わり、様々なことを学ばせていただきました。感謝しております。今後ともJICAデスク大分を宜しくお願い致します。



▲青年海外協力隊経験者によるシリアの文化紹介



▲配属先セントルシア赤十字社

井本

初めまして! 3月1日より新国際協力推進員(JICAデスク大分)として着任しました。井本望です。私は2014年からの2年4カ月間、青年海外協力隊員として、中米カリブ海の島国セントルシアへ赴任していました。現地赤十字社に初代ボランティアとして派遣され、小・中高等学校の青少年赤十字クラブを活性化させるため、異文化理解教育や平和学習、環境教育など、新プログラムの企画・実施に取り組みました。これからは大分県を舞台に、国際理解・国際協力推進のために様々な取り組みを進めていきます。どうぞよろしくお願い致します!

イベント情報

JICA海外協力隊ナビ@おおいた 5/8(水)、6/12(水) 18:00~20:00(予定)
◎iichiko総合文化センター1階 アトリウムプラザ ◎JICAデスク大分 ☎097-533-4021

News 03

2/24(日) 国際理解講座⑦【カナダ編】

同じラグビーW杯2019の県内開催試合で、敗者復活予選の優勝チームがカナダ代表に決定したことから、大分県ラグビーワールドカップ2019推進課と共同主催で開催しました。講師にはカナダ政府西日本通商事務所の藤井浩二通商代表と、カナダ出身で大分中学・大分高等学校所属ALT(外国語指導助手)のDylan Sung(ディラン・ソン)さんを迎え、カナダの歴史や文化、教育やスポーツ等の話題に、参加者は聴き入っていました。今回は定員40名に対して58名の参加があり、ラグビーワールドカップ大分大会関連の国際理解講座を締めくくるにふさわしい盛況ぶりでした。



News 02

1/13(日) 国際理解講座⑥(共催)【ニュージーランド編】

今年10月に開催されるラグビーワールドカップ2019。県内対戦国の一つであるニュージーランドの公認キャンプ地が別府市に決定したことから、その関連イベントである「別府ラグビーフェア2019」に絡め、大分県ラグビーワールドカップ2019推進課の主催のもと、共催として【ニュージーランド編】を開催しました。リディア・バーラッドさん(ニュージーランド大使館2等書記官)、志藤岳さん(大分県石油商業組合 事務局長)、そしてニュージーランド出身者である友岡ジョアンさん(キオラコテージオーナー)を講師に迎え、ニュージーランドの生活文化やラグビーに関する話など、立ち見客も出る盛況の中、会場は大いに盛り上がりました。



News 04

日本語ボランティア スキルアップ講座 2/18(月)【日本語教室(初心者)編】 3/18(月)【日本語教室(経験者)編】

講師に別府大学文学部国際言語・文化学科の篠崎大司准教授をお迎えし、2019年2月18日、3月18日にそれぞれ初心者編、経験者編を開講しました。初心者編には、50名近くが参加し、日本語教育の置かれている現状と日本語教育を行う導入部分であるカリキュラムデザインについて講義しました。経験者編は、事前にアンケートを行い参加者の質問に答える形式で行いました。ここでは、グループ毎に話す時間を多くとり、言語を学習する立場を体験して、笑いと満足感に包まれた講座となりました。



＼ビビッと豊かなライフスタイル／
びび的ライフスタイルのススメ



TAKASAGO

宮崎和恵さん(大分市在住)

▲▲▲メンバーステージ/TAKASAGO ▲▲▲

前身の「emo倶楽部」の時から利用していて、OPAMの開館と同時に「びび」に入会しました。最初はKOTOBUKIでしたが、特典がシンプルで、一人で鑑賞する機会の多い私にぴったりなTAKASAGOに変更しました。入会して良かったことは、企画展やコレクション展が無料なので、会期中に**同じ作品を何度も観る楽しみが増えたこと**。特に福田平八郎の作品が好きです。気に入った企画展の時は何度も足を運びますが、逆に馴染みのない企画展でも、何度も観ることで少しでも内容が理解できれば…と思っています。あと、**会期中に作品の掛け替えがあると**も助かりますね。これは要望ですが、何を観に行ったかを記録するために、**びびメンバー専用の記録手帳を作っていたきたい!!**1年の間に何を観たかを見返したいですね。「いO」については、最近文字が多くて読むのが大変(笑)。歌舞伎役者のインタビューなど、せっかくならう少し大きな写真で見たいですね。



福田平八郎(新雷)1948(昭和23)年



◀大好きな福田平八郎の作品の中でも、特にお気に入り

▲「よくわからなくて苦戦したけど、何回も行った(笑)」という2016年の「シスター・イン・ミュージアム」

このコーナーに出てください
びびメンバーを募集しています。

—申し込み先—
☎097-533-4025
もしくはメール
bivi@opam.jpにて

大分県立美術館の展示会を観賞するなら
かなりお得な!

TAKASAGO 5,000円(年会費)のご案内

KOTOBUKI・TAKASAGOは下記展示会が**無料**で鑑賞可能!

展示内容	通常料金
黄金とミイラが伝える 古代アンデス文明展 [会期] 3/8(金)~5/6(月・祝)	一般・大学生 1,500円 高校生 1,000円 小中学生 600円
ニューヨークのアビーコレクション 竹工芸名品展 メトロポリタン美術館所蔵 [会期] 5/18(土)~6/30(日)	一般 1,500円 高大学生 700円
ムーミン展 THE ART AND THE STORY [会期] 6/29(土)~9/1(日)	一般 1,400円 高大学生 1,000円 小中学生 700円
名探偵コナン 科学捜査展 ~真実への推理(アブダクション)~ [会期] 9/14(土)~11/10(日)	一般・大学生 1,400円 中学生 1,000円 4歳~小学生 600円
江戸浮世絵の黄金時代 The Ukiyo-e 歌川派-豊春から国芳、広重まで- [会期] 9/20(金)~10/27(日)	一般 800円 高大学生 500円
日本の美意識-刀剣と金工-(仮題) [会期] 9/27(金)~10/22(火)	一般 800円 高大学生 500円
岡本太郎展(仮題) [会期] 2020年 12/26(木)~1/24(金)	一般 800円 高大学生 500円
建国300年 ヨーロッパの宝石箱 リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展 [会期] 2020年 3/6(金)~4/19(日)	一般 1,200円 高大学生 800円
コレクション展(31年度6回開催)	一般 300円(6回1,800円分) 高大学生 200円(6回1,200円分)
展示会をすべて観賞すると	一般10,700円 大学生8,100円 高校生7,200円

- iichiko総合文化センターが主催、共催等するものうち、指定する公演に限り、「先行予約」「割引価格」で購入可能。
- 駐車場券KOTOBUKI 25時間分(5,000円分)TAKASAGO10時間分(2,000円分)連呈。
- KOTOBUKIは、企画展に限り、同伴者1名当日券半額。
- UMEは、2,500円の追加でTAKASAGOへ変更可能。ただし、現在の有効期限を引き継ぐものとします。
- 特典の詳細については、<http://www.opam.jp/page/information.html>にてご確認ください。

友の会びびの
お申込みは
コチラから▶

友の会びび
個人有料会員期限内更新特典

友の会びびの個人有料会員様が有効期限内にご更新いただいた際に、以下の特別割引会費(10%OFF)を適用

KOTOBUKI	10,000円 ▶ 9,000円
TAKASAGO	5,000円 ▶ 4,500円
UME	2,500円 ▶ 2,250円



今回の表紙の写真は…
吉村益信の作品でした。
表紙の写真は、吉村益信の作品です。国際交流プラザや練習室のあるiichiko総合文化センター地下1階に展示されています。大分市出身の吉村益信は、1960年代「ネオ・ダダ」と呼ばれた前衛芸術グループを発足し、活躍したアーティストです。この作品は、神奈川県藤原市にアトリエを構えた吉村が、豊かな自然のなかで制作した「木漏れ日」シリーズです。丸・三角・四角の構成は、吉村がアトリエから眺めた自然の光の移ろいやリズムを想起させます。



●問合せ・申込先
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
大分県芸術文化友の会 びび
〒870-0029 大分市高砂町2-33 E-mail bivi@opam.jp
tel.097-533-4025 / fax.097-533-4050

＼申込方法等の詳細はHPへ。/
びび 友の会
<http://www.opam.jp/bivi>